

九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

スタジオ
(教材開発センター)
Studio(ICER)

映像教材制作をより身近に! 伊都ビデオスタジオ完成報告



伊都キャンパスに、教材開発センターのスタジオがリニューアルオープンしました。教材開発センターでは、平成 26 年度に大橋キャンパスに撮影スタジオを設置し、MOOC コンテンツ等の映像教材制作を行ってききましたが、この度、スタジオ機材一式を伊都図書館に移設し、より多くの皆様にスタジオを活用いただけるように整備を行いました。

このスタジオは、録画・録音のための防音空間であることはもちろんですが、映像教材制作のための様々な設備も備えています。例えば、カメラにはプロンプターという装置を備えており、原稿を読みながら、かつカメラ目線での映像を撮影することができます。また、映像制作システムを用いて、背景をリアルタイムで合成しながらの撮影を行うこともできます。大型の電子黒板を用いて、図表を指し示したり、書き込みを行ったりしながらの撮影も可能です。また、カフボックスも備えているため、ナレーションのみの録音にもご活用いただけます。



スタジオは、この 4 月に改修を終えてグランドオープンした伊都図書館 3 階に所在します。



開架スペースのすぐ隣に位置しているため、来館された方が、「スタジオ」の看板に足を止める姿も見受けられます。スタジオを用いて、映像教材や授業のプロモーションビデオを制作してみたい方がいらっしゃいましたら、是非お気軽に教材開発センターまでご相談ください。

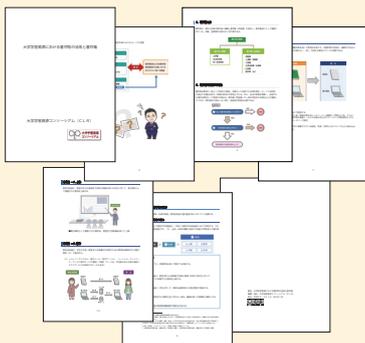
お問い合わせはこちら ▶ <http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/flows>

【谷澤 亜里 助教】

映像制作システム

伊都スタジオでは、撮影した映像は、カメラ本体に録画されるだけでなく、調整室の映像制作システムに送られます。このシステムを操作することで、映像の切り替えや、テロップや背景の合成などをリアルタイムで行うことができます。

CLR ガイドライン「大学学習資源における著作物の活用と著作権」を作成しました



九州大学加盟の大学学習資源コンソーシアム (Consortium for Learning Resources : CLR) の作業部会の一つである活用ガイドライン WG において、ガイドライン「大学学習資源における著作物の活用と著作権」を作成しました。

本 WG は、吉田素文教授 (現・国際医療福祉大学、平成 27 年度まで本センター協力教員) が主査を務めており、教材作成者の教育・学習活動を支援するため、学習資源における著作物の自由な流通環境の構築に向けた取り組みの一環としてガイドラインを作成しました。

内容は、著作物と著作権 (第 1~2 章)、著作物利用の原則 (第 3~4 章)、大学における教材の作成と運用の実態とどのような運用を望むかについての具体的なイメージ (第 5 章)、教材の作成と運用に関連する著作権法 (第 6~12 章) です。

▼ ガイドラインはこちらからダウンロードできます
http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/topics_20160412

▼ 大学学習資源コンソーシアム (CLR) のウェブサイトはこちら
<http://clr.jp/index.html>

【河野 由起子 (テクニカルスタッフ)】

映像コンテンツの制作・配信を行っています



教材開発センターでは、授業の撮影・編集・公開を行っています。通常の講義動画以外にも様々な映像コンテンツの制作を行っています。例えば、昨年度末には、大学院基幹教育の基幹科目9科目について、ビデオシラバスの制作を行いました。これは、授業担当の先生方による授業紹介メッセージを約2分の動画にまとめたものです。制作にあたっては、授業の魅力を多くの方に伝えられるような映像を目指しました。このビデオシラバスは、基幹教育院のホームページや九大公式 Youtube から閲覧することができますので、是非ご覧ください。

▼2016年度前期大学院基幹教育ビデオシラバス 再生リスト

https://www.youtube.com/playlist?list=PLVhByfY_xuBJFUe3t68kB5SScJe75EcJ9

また、九州大学ホームページリニューアルに伴い、学生歌・応援歌が Youtube で視聴できるようになっていますが、こちらの動画も、広報室から素材を提供いただき、制作を行ったものです。

▼九州大学学生歌・応援歌 Youtube 再生リスト

https://www.youtube.com/playlist?list=PLVhByfY_xuBLUi6gF-c7EPno7rU3TSLR2

このように、教材開発センターでは、学内の教育・研究・広報に関わる様々な映像コンテンツの制作と公開を行っています。ご関心をお持ちの方は、是非お気軽にご相談ください。



▲ビデオシラバスの撮影風景



▲九州大学 学生歌 youtube

【谷澤 亜里 助教】

次世代の教材開発を支える技術 ～カッティングマシン～



▲silhouette CAMEO
サイズ (W532 x D189.2 x H130 mm)

今回紹介させていただく次世代の教材開発を支える技術は「カッティングマシン」です。海外では「Vinyl Cutter」などとも呼ばれています。

この装置は、紙のような薄い材質の物をコンピューターで描いたとおりに切ることが出来ます。コンピューターを

使って、形を切り取ることで、手で切り取ることが難しいような複雑な形状の物も、簡単に切り取ることが出来ます。薄い材質であれば、様々な材質を切り取ることが出来るので、シールのような材質を好みの形に切り取って、ステッカーのようなものを作ることもできます。



▲文字やイラストなど自由に作図できます

このカッティングマシンは本年度から伊都図書館にて、全学生が自由に使えるように公開する予定です。カッティングマシンがどんなものか体験してみたいという方がいらっしゃいましたら、是非伊都図書館に足を運んでみてください！

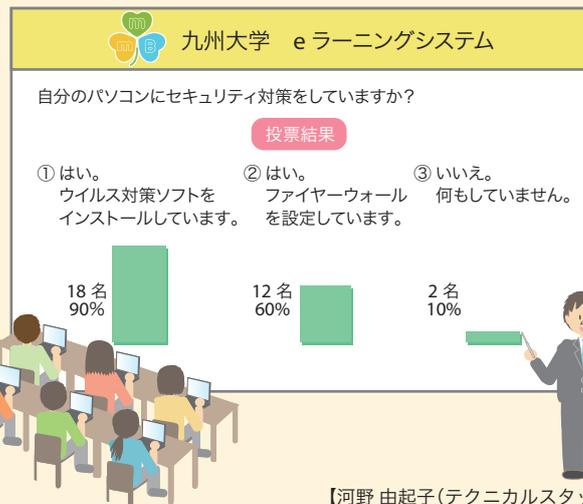
▼教材開発センターでは、下記の機材を貸し出しています。先生方の講義・研究資料の作成や講義の収録にお使ください。

【金子 晃介 助教】

Moodle 活用法 ～授業中にリアルタイムでアンケートをとる～

Moodle の「投票」機能を使って、授業中にリアルタイムで学生にアンケート調査を行うことができます。回答結果は、グラフ化してスクリーンに表示されますので、学生の集中力や参加意識を高め、楽しく効果的な授業を行うことができます。

M2B の情報サイト ▶ <http://lac.kyushu-u.ac.jp/m2b/>



～教材開発支援機材システムの貸し出しについて～

お問い合わせ、お申込みフォームはこちらから

▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

- ① デジタル顕微鏡 ② 光学式モーションキャプチャー装置 ③ 3D スキャナー
④ 3D プリンター ⑤ ハイスピードカメラ ⑥ 視線追尾装置 ⑦ 講義収録配信システム

電子教材著作権講習会を開催しました



▲岡田義広 教授
(教材開発センター長)

今年度より、元協力教員の吉田素文教授に代わり、岡田義広センター長が電子教材著作権講習会を担当しております。昨年度までの資料を一部引き継ぎ、新たに、全学の「サイバーセキュリティ基礎論」の著作権の講義を基にした内容となっています。オンライン教材を作成・利用する際、他人の著作物が含まれる場合の注意点と著作権者の了解なしに利用できるケースについて、具体例を交えてご説明します。

5月には、馬出、箱崎、伊都キャンパスにて開催しました。ご要望に応じて、各部局・部門等にてFD講習会を開催いたしますので、是非ご依頼ください。 詳細はこちら ▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/copyright_info



【河野 由起子(テクニカルスタッフ)】